

育児休業手当金請求（変更請求）書

照 合	係

決定額 ※ 円

組合員証記号番号		所 属 機 関	名 称		
組 合 員 氏 名			所 在 地		
標 準 報 酬 の 等 級 及 び 月 額	第 級 円	育 児 休 業 手 当 金 の 請 求 期 間		平 成 年 月 日 から	平 成 年 月 日 まで
育 児 休 業 の 初 日	平 成 年 月 日	給 付 日 額 (備考) 3、4 参照	育 児 休 業 の 初 日 から 1 8 0 日 まで (B 1)		1 8 1 日 以 降 (B 2)
			円		円
育 児 休 業 の 末 日	平 成 年 月 日	給 付 日 数	育 児 休 業 の 初 日 から 1 8 0 日 まで (C 1)		1 8 1 日 以 降 (C 2)
			日		日
育 児 休 業 に 係 る 子 の 生 年 月 日	平 成 年 月 日	請 求 金 額 (D 3) (備考) 5 参照		円	
育 児 休 業 手 当 金 支 給 期 間 延 長 事 由	1 保 育 所 に お け る 保 育 が 実 施 さ れ な い こ と 2 養 育 を 予 定 し て い た 配 偶 者 の 死 亡 3 養 育 を 予 定 し て い た 配 偶 者 の 負 傷 ・ 疾 病 等 4 養 育 を 予 定 し て い た 配 偶 者 と の 婚 姻 の 解 消 等 に よ る 別 居 5 養 育 を 予 定 し て い た 配 偶 者 の 産 前 産 後 休 業 等				
上記のとおり請求（変更請求）します。 愛知県市町村職員共済組合理事長 様 平成 年 月 日 <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">住 所</div> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">請 求 者</div> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">氏 名 ㊟</div>					
上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。 平成 年 月 日 <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">職 名</div> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">所 属 所 長</div> <div style="text-align: right; margin-right: 100px;">氏 名 ㊟</div>					

(備考) 1 育児休業（又は変更）に関する所属機関の長の証明書を添付してください。

2 勤務しなかった期間に報酬が支払われた場合は、支払われた報酬についての所属機関の長又は事務担当者の証明書を添付してください。

3 標準報酬の日額・標準報酬の月額×1/22（10円未満四捨五入）…（A）

4 給付日額・育児休業の初日から180日まで…（B1）
 (B1) = (A) × 67 / 100（円未満切捨て）上限額を超える場合は上限額
 181日以降…（B2）
 (B2) = (A) × 50 / 100（円未満切捨て）上限額を超える場合は上限額

5 請求金額・育児休業の初日から180日まで…（D1）
 (D1) = (B1) × 給付日数（C1）
 181日以降…（D2）
 (D2) = (B2) × 給付日数（C2）

} 合計額 (D3) = (D1) + (D2)

※印欄は記入しないでください。

○ 育児休業手当金計算方法 (参考・提出不要)

1 標準報酬の日額 標準報酬の月額×1/22

$$\underline{\hspace{2cm}} \text{円} \times 1/22 = \underline{\hspace{2cm}} \text{円 (A)} \quad (10 \text{円未満四捨五入})$$

2 育児休業手当金請求日額

(1) 育児休業の初日から180日まで

標準報酬の日額 (A) × 支給率 (67/100)

$$\underline{\hspace{2cm}} \text{円} \times 67/100 = \underline{\hspace{2cm}} \text{円 (B1)} \quad (\text{円未満切捨て})$$

(2) 181日以降

標準報酬の日額 (A) × 支給率 (50/100)

$$\underline{\hspace{2cm}} \text{円} \times 50/100 = \underline{\hspace{2cm}} \text{円 (B2)} \quad (\text{円未満切捨て})$$

3 給付上限相当額

(1) 育児休業の初日から180日まで

雇用保険法第17条第4項2号ハに定める額に相当する額 (当該額が同法第18条の規定により変更された場合は、当該変更後の額) × 30 × 67/100 × 1/22

$$\underline{\hspace{2cm}} \text{円} \times 30 \times 67/100 \times 1/22 = \underline{\hspace{2cm}} \text{円 (B3)} \\ (\text{円未満切捨て})$$

(2) 181日以降

雇用保険法第17条第4項2号ハに定める額に相当する額 (当該額が同法第18条の規定により変更された場合は、当該変更後の額) × 30 × 50/100 × 1/22

$$\underline{\hspace{2cm}} \text{円} \times 30 \times 50/100 \times 1/22 = \underline{\hspace{2cm}} \text{円 (B4)} \\ (\text{円未満切捨て})$$

4 育児休業手当金請求金額

(1) 育児休業の初日から180日まで

$$(B1)^* \times \text{給付日数}(C1) = \underline{\hspace{2cm}} \text{円}(D1)$$

※ B1 ≥ B3の場合、育児休業手当金請求日額はB3となる。

(2) 181日以降

$$(B2)^* \times \text{給付日数}(C2) = \underline{\hspace{2cm}} \text{円}(D2)$$

※ B2 ≥ B4の場合、育児休業手当金請求日額はB4となる。

(3) 請求金額

$$(D1) + (D2) = \underline{\hspace{2cm}} \text{円}(D3)$$